

ヨドバシカメラ様：RFID 入庫管理システムの導入



ヨドバシカメラ
www.yodobashi.com

ヨドバシカメラ様は、全国 19 店舗で売上高 6,000 億円超を誇る企業。徹底した出店戦略と高度な情報・マーケティング戦略に支えられています。ターミナル駅前・大型店舗での大量集客と、そこで毎日得られる膨大な販売データをリアルタイムに分析することで需要予測、取引先メーカーへ自動発注。メーカーの生産効率の向上にも貢献する一方、物流のスピード化とコスト削減も実現しています。その最先端のサプライチェーン・マネージメントの実現に貢献しているのが、モトローラ(旧シンボル)の RFID(無線 IC タグ)製品です。

課題：85 万アイテムを超える膨大な入庫商品をどのように管理するのか？

ヨドバシカメラ様では、パソコン・OA 機器、AV 機器、家電製品、デジタルカメラ・カメラ、時計、携帯電話、ゲーム機及びソフト、CD・DVD ソフト等、毎日のように新製品が登場し、販売競争が熾烈を極めていの中で、いかにスピーディで効率的な商品調達を行い、そのニーズに即応できる体制を構築するのが課題となります。その中で最も重要なポイントとなるのは 85 万アイテムを超える商品の入庫管理。様々な取引メーカーからの多種多様な商品。入庫ロット数で言えばさらに膨大な数になります。その入庫管理をもっと効率的に行えるソリューションが求められていました。

ソリューション：モトローラ(旧シンボル)と戦略的パートナー企業であるマイティカード社による RFID 入庫管理ソリューション。

モトローラ(旧シンボル)と戦略的パートナーであるマイティカード社が、入庫管理の現状を調査・把握し、入庫プロセスの改善策としてご提案したのが RFID を採用した入庫管理システム。RFID において世界的リーダー(*)であるモトローラ(旧シンボル)の RFID 製品と、マイティカード社の RFID 導入ノウハウを組み合

わせた最先端の入庫管理システムです。モトローラ(旧シンボル)の RFID 製品は、初代製品から数えて4世代目。完成度の高い製品として世界的にも多くの企業、施設で本格導入されています。この最先端入庫管理システムは、試験導入、検証を経た後、本格稼働。複数のケースに貼付されたタグを、倉庫に設置されたリーダーが同時に読み取ることで、入荷作業、入荷検品の省力化を実現しています。

成果：

この入庫管理システムにより、入庫時の視認性が向上し、作業負担が軽減され、確実な管理により、在庫の最適化を達成しています。リアルタイムでの在庫管理システムや店舗システムとの連動で、理想的なサプライチェーンの構築にも貢献しています。ヨドバシカメラ様は2005年東京・秋葉原に専門店としては史上最大規模の店舗をオープン。大胆な戦略と緻密な経営のヨドバシカメラ様を、モトローラ(旧シンボル)の RFID 製品が支えています。

ヨドバシカメラ様での RFID 入庫管理ソリューション導入の成果

- 入庫商品の視認性が向上
- 業務コストが低減
- 在庫の最適化を実現